

少林寺拳法部





1961(昭和36年)・春 新入生訪談オリエンテーションで演武会を行う。演武者は高橋博(昭和37年卒)。



1963(昭和38年)・夏 本塾の施設である山中湖の慶應山荘で夏期合宿を行う。練習前の主座島田洋平(昭和40年卒・写真右)による鎮魂の様子。



1961(昭和36年) 四国・多度津の本山合宿に参加。現在、本部道院となっている所で練習が行われた。これは部創設当時のメンバーの集合写真。



1965(昭和40年) 道場がなかった当時、旧三田警察署の屋上で練習を行っていた。写真左から武村博喜、鈴木敏之、丸田健彦(全員昭和41年卒)。



1975(昭和50年)・秋 三田祭で慶早対抗乱捕交流試合を開催。写真奥の選手は八代隆二(昭和51年卒)。当時の乱捕スタイルは、12オンスグローブと剣道の胴をつけ、頭部には何もつけずに行うものだった。

祝 創立二十周年記念パーティー

慶應義塾体育会新設少林寺部



1980(昭和55年)・7・12 創立20周年記念式典で、奉納演武を行った前田一郎(昭和56年卒)と市原哲夫(昭和56年卒)。



1980(昭和55年)・夏 夏期合宿の練習を見守る吉川聖一少林寺拳法三田会会長(写真左)と吉富明彦現副会長(写真中央)。

1980(昭和55年)・夏 夏期合宿の練習を見守る少林寺拳法部部長山田辰雄先生(写真左)と岡田孝毅少林寺拳法部創設者(写真右)。



1980(昭和55年)・7・12 少林寺拳法三田会総会にて。今後の方針として、道場建設と体育会加入の実現を強調する吉川聖一少林寺拳法三田会会長。



1984(昭和59年)・11・10 道場落成記念式典にて。第一の目標が達成されたことを報告する少林寺拳法部長山田辰雄先生。



1984(昭和59年)・11・10 道場落成記念式典にて。現役による奉納演武を行う。



1984(昭和59年)・11 落成後、最初の練習を道場で行う。看板もまだ真新しい。

1985(昭和60年)・春 第22回少林寺拳法関東学生大会の准拳士の部で最優秀賞。出場選手は斉藤隆史(昭和63年卒)と中島法夫(昭和63年卒)。



1987(昭和62年)・春 第24回少林寺拳法関東学生大会の少拳士の部。写真左は荻沼雅敏(平成2年卒)。男子の演武には級拳士、准拳士(初段)、少拳士(二段)、中拳士(三段)、以上衆敵闘法などがある。



1987(昭和62年)・春 第24回少林寺拳法関東学生大会の男子自由組演武三人掛けで優秀賞。写真左から中島正樹(平成2年卒)、永野好士(昭和63年卒)、佐々木一(昭和63年卒)。



1989(平成元年)・秋 第23回少林寺拳法全日本学生大会の女子組拳士の部。出場選手は大島千里(写真左、現役)と織田宏子(写真右、現役)。女子の演武には級拳士、准拳士(初段)、少拳士(二段)、以上衆敵闘法などがある。

1959 夏、総本山少林寺初代管長宗道臣が、歴史的には古くインドに源を発し、その後中国に伝えられたとする阿羅漢之拳、義和拳など種々の拳法を戦時中、中国で修得した。戦後日本において剛法、柔法、整法に体系化した少林寺拳法を本部創設者岡田孝毅(昭和37年卒)が四国・多度津の本山にて学び、慶應義塾に持ち帰る。

1960・4・1 岡田孝毅・北宗平(昭和37年卒)を中心に全国の大学で初めて少林寺拳法部(同好会)を創設。部長には法学部教授石川忠雄先生(現慶應義塾長)が就任。指導を初代管長宗道臣ほか高段者多数から受ける。

1962・4・1 少林寺拳法三田会を結成。会長に岡田孝毅、副会長に三浦威彦・北宗平就任。/春 本塾主導にて少林寺拳法関東学生連盟を結成。/秋 第1回少林寺拳法関東学生大会の乱捕団体戦個人戦で準優勝。

1965 春、本塾主導にて少林寺拳法全日本学

生連盟結成。初代委員長に寺岡武男(昭和41年卒)就任。

1966 第1回少林寺拳法慶早定期戦を開催。優勝。

1968・4・1 体育会所属団体に加入。/秋 第4回少林寺拳法全日本学生大会の自由組演武で第3位。

1969・11 第5回少林寺拳法全日本学生大会、自由組演武で準優勝。総合成績4位。

1970・11 第6回少林寺拳法全日本学生大会、自由組演武で準優勝。

1971 春、第10回少林寺拳法関東学生大会で明大と同点優勝。/10 第7回少林寺拳法全日本学生大会、自由組演武で優勝。総合成績第3位。

1972・5 第11回少林寺拳法関東学生大会の乱捕団体戦で準優勝。自由組演武第3位。

1975・6・22 創立15周年記念式典を帝国ホテルにて開催。部長の法学部長石川忠雄先生

をはじめ、各界の方々が出席。少林寺拳法三田会の役員改選を行い、会長岡田孝毅、副会長吉川聖一(昭和38年卒)、斎藤芳秀(昭和39年卒)、寺岡武男就任。

1977 部長石川忠雄先生が慶應義塾長に就任のため、法学部教授山田辰雄先生が部長に就任。初代監督に三木洋樹(昭和41年卒)就任。

1978・11 道場建設準備委員会を発足。会長に北宗平就任。

1980・7・12 創立20周年記念式典をホテルオークラにて開催。初代部長で塾長の石川忠雄先生をはじめ、各界の方々が出席。少林寺拳法三田会の役員改選を行い、会長に吉川聖一、副会長に斎藤芳秀、北川博道(昭和40年卒)、三木洋樹就任。

1981・4・1 体育会新種目団体に加入。

1982・11 道場建設具体化のため、道場建設準備委員会を発展的に解消し、道場建設委員会を発足。会長に板倉勲(昭和39年卒)就任。



1990(平成2年)・秋 第24回少林寺拳法全日本学生大会の団体演武の部。出場選手は楠美雅堂(平成3年卒)以下計12名。写真左から3番目は桜井篤(平成3年、主将)、写真右から3番目は山口大亮(平成3年、副主将)。

1989(平成元年)・秋 第23回少林寺拳法全日本学生大会の少拳士の部に出場した天野明治と末吉健介(平成3年卒)。男子の少拳士以上になると運用法(乱捕)が行われ、その得点も演武の得点に加算されるため、レベルの高い試合となる。



1990(平成2年)・12・8 創部30周年記念並びに体育会加入記念式典での少林寺拳法本部の先生方の奉納演武。写真左は田中功作先生、写真右は現在、技術コーチをさせていただいている井上弘先生。



1990(平成2年)・12・8 創部30周年記念並びに体育会加入記念式典に初代部長でもあり、本塾塾長の石川忠雄先生(写真中央)を出迎える吉川聖一(少林寺拳法三田会会長(写真左))。



1990(平成2年)・12・8 創部30周年記念並びに体育会加入記念式典での少林寺拳法部初代部長の石川忠雄先生(現本塾塾長)より御挨拶を頂く。

1990(平成2年)・12・8 創部30周年記念並びに体育会加入記念式典に初代部長の石川忠雄先生(写真中央)を囲んで、少林寺拳法部30年の歩みをまとめたスライドを放映。



1984・3・28 日吉娘谷にて道場建設の地鎮祭を挙げる。/9 第21回少林寺拳法関東学生大会の男子中拳士以上で優秀賞。/11・10 部創立以来の念願であった道場が落成。本塾および体育会関係者を招待して記念式典を道場にて開催。本塾創立125周年事業の一端として、本塾に寄贈。

1985 春、第22回少林寺拳法関東学生大会の准拳士で最優秀賞。/7・7 創部25周年記念式典をホテルオークラにて開催。初代部長で塾長の石川忠雄先生をはじめ、各界の方々が出席。少林寺拳法三田会の役員改選を行い、会長に吉川聖一、副会長に斉藤方秀、板倉勲、久保田秀夫(昭和40年卒)、三木洋樹就任。

1987・5 第24回少林寺拳法関東学生大会の団体演武で優良賞。男子自由組演武三人掛けで優秀賞。

1988・5 第25回少林寺拳法関東学生大会の准拳士自由組演武、級拳士規定組演武で優

秀賞、衆敵闘法で優良賞、男女組演武、団体演武で敢闘賞。

1989・4・1 第2代監督に石原伸晃(昭和56年卒)就任。/5 第26回少林寺拳法関東学生大会の級拳士衆敵闘法で最優秀賞。有段者衆敵闘法で優秀賞、中拳士以上自由組演武、団体演武で敢闘賞。/10 少林寺拳法5大学対抗戦で優勝。/11 第23回少林寺拳法全日本学生大会の衆敵闘法(男女)で優秀賞、女子級拳士で優良賞、女子准拳士、少拳士、男女組演武で敢闘賞。

1990・4・1 体育会に第38番目の部として加入。/5 第27回少林寺拳法関東学生大会の中拳士以上、女子級拳士で優良賞、男子准拳士、男子衆敵闘法で優良賞。/6 少林寺拳法慶早防3校定期戦で優勝。/12 第25回少林寺拳法慶早定期戦開催、優勝。通算24勝0敗1分。/12・8 創立30周年並びに体育会加入記念式典をパレスホテルにて開催。

初代部長で塾長の石川忠雄先生を初め、各界の方々が出席。体育会加入に伴う諸会則の変更を行い、役員を増員。会長に吉川聖一、副会長に斉藤方秀、板倉勲、久保田秀夫、中里一雄(昭和46年卒)、吉富明彦(昭和50年卒)が就任。

1991・5 第28回少林寺拳法関東学生体育会の女子准拳士、級拳士男女、有段者男女、有段者女子衆敵闘法で敢闘賞。/6 少林寺拳法慶早防3校定期戦で優勝。



1991(平成3年)・春 第28回少林寺拳法関東学生大会の有段者男女の部に出場した渡辺昌行(平成3年幹部)と野口哲代(平成3年、3年)。